

- ② 主 催
文部省、群馬県、群馬県教育委員会
- ③ 期 日 昭和55年10月15日～17日
- ④ 会 場 群馬県民会館
- ⑤ 研究協義
幼稚園教育における指導のあり方をふまえ、幼児の心身の発達に即した適切な指導は、どのように行ったらよいか。

⑥ 参加者 4名
(6) 幼稚園新任教員研修会

- ① 目 的
公・私立幼稚園の新任教員に対して、幼稚園教育の基礎、指導計画の作成と展開、指導方法等について講義、演習、実習を行い、幼稚園教員の指導力の向上を図る。

- ② 主 催 福島県、福島県教育委員会
- ③ 期間・会場
5月～7月 }
6月 } 各教育事務所
9月 }
1月 }

- ④ 参加人数
昭和55年度公私立幼稚園新任教員 135名

- ⑤ 研修内容
ア 講 義
新任教員の心構え
幼稚園教育の基礎と課題
幼稚園教育の内容と指導
イ 演 習
週指導計画、一日の指導計画の作成
ウ 実 習
授業実習

(7) 幼稚園教育指導資料の作成

- ① 名 称
幼稚園教育指導資料(Ⅷ)「領域別指導展開事例集、言語・自然」
- ② 趣 旨
年次計画に従い、幼稚園教育に関する参加資料を作成し、県内幼稚園の教育内容の充実に資する。
- ③ 基本方針
ア 幼稚園教育要領を基準とし、既刊の指導資料の内容との関連をもたせる。
イ 地域や幼稚園の実情に即し、活用できるように内容を構成する。
- ④ 作成員の構成
幼稚園長、教諭及び指導主事をもって構成する。
- ⑤ 内 容
領域別指導展開事例集「言語・自然」

8 へき地教育

本県におけるへき地学校数は、第3章第1節の6、へき地対策の(1)へき地学校の状況のところ述べているが、県全体の小中学校別の総数に対して、小学校は31.9%、中学校は23.5%を占め、小中学校総数に対して、へき地小中学校は29.5%

の割合になっている。

へき地校の分布を地域的にみると、へき地学校の42.4%が会津方面で占められ、県中・南部は28.0%、浜方面は、21.6%、県北方面は 8.0%の割合となっている。また、会津方面では小中学校の68.7%の学校がへき地校と多く、高度へき地指定校が目立つのが本県へき地の特色である。

これらのへき地、山村、過疎地域の教育の振興を図るため、下記の事業の実施に努めた。

(1) へき地教育担当教員研修会

- ① 趣 旨
複式学級担当教員に対し、複式学級学習指導計画並びにシート式磁気録音機の活用のし方等を研修し、複式学級学習指導法の改善を図るとともに、へき地教育の改善に資する。
- ② 期日・会場
昭和55年8月7日～8月9日(3日間)
於 福島県教育センター
- ③ 講 師
川俣町立山木屋小学校 校長 尾形嘉市
- ④ 指 導 者
義務教育課長、主幹、主任指導主事、指導主事
- ⑤ 講 演
「へき地学校経営の実践」
- ⑥ 講義・演習
○ へき地における学校教育上の諸問題
○ 教育課程の改訂と複式学級の指導
○ へき地校における特別活動の指導
○ 複式学級における学習指導(音楽科、社会科)
○ シート式磁気録音機の操作とシートの作成
○ 複式学級における効果的な授業の進め方
- ⑦ 参加者数 83名

(2) 中学校免許教科外教科担当教員研修会

- ① 趣 旨
中学校免許教科外の教科を担当する教員を対象として学習指導に関する研修を行い、指導力の向上と教育活動の充実に資する。
- ② 主 催
福島県教育委員会
- ③ 期日・会場及び実施教科

管内	期 日	会 場	実施教科(参加人数)
県北 県中 県南	5月19日	郡山市立桃見台小学校	国語(15) 社会(13)
	5月20日	郡山市立芳山小学校	数学(20) 理科(5)
	5月22日	郡山市立郡山第一中学校 郡山市立郡山第二中学校	音楽(7) 美術(12) 保健(9) 家庭(27)
会津 南会津	5月12日	会津若松市立第一中学校	国語(11) 社会(11)
	5月13日		数学(12) 理科(4)
	5月14日		美術(19) 保健(6) 家庭(20) 英語(3)
相 双	5月28日	原町合同庁舎 浪江中学校 原町文化センター	数学(8) 美術(11)
	5月29日		家庭(9) 英語(3)
	6月23日		
いわき	5月19日	いわき市合同庁舎 いわき市立湯本第一中学校	国語(17) 数学(13)
	5月28日		家庭(15) 英語(12)
	5月29日		